

[041] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/27519>

出版情報：九州大学東洋史論集. 41, 2013-03-29. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

編集後記

本号には、七つの雄編を掲載することができました。

植松慎悟、稲住哲朗、藤野月子の各氏は、すでにご存じのように、それぞれ後漢、北朝、唐代をその研究の中心としながら、精力的に研究を進めておられ、現在本研究会の中心的メンバーとして活躍されています。また、前田尚美氏は現在京都女子大学大学院の特別研修者として活躍で、明代政治史に新しい研究視角を提示されようとされています。山本進氏についてはもはや贅言を要しませんが、本号では朝鮮史方面の研究を一層推進されています。岡本真氏は現在東京大学史料編纂所の助教として活躍ですが、今回の成果は今後のこの分野の研究に裨益するところが大きいでしょう。宜しくご検討ください。

この場をかりて、本号にご寄稿頂いた各位、及び関係者の方々に対し、厚く御礼申し上げる次第でございます。なお、本年度より、本論集のバックナンバーを九州大

学機関リポジトリを通じて広く公開しております。諸方面よりご高覧賜れば幸いです。

財政、時間、とりわけ人手の面で、定期的刊行を継続してゆくことがいよいよ困難な状況が生じてまいりましたが、今後とも刊行を続けてゆきたいと思っておりますので、何卒皆様のご支援を賜りますようお願い上げる次第でございます。

(川本)